巨人前総督の足

跡

鑑子を迎へて家醫を旧職せ

【〇〇地基二日同盟】

豫期以上の成果 十島民衆間に本航度を要認す

御差遣宮殿下 本溪湖煤鐡公司宮原工場を御祝察 鹽惠

時廿分御用卵草にて牽天鵬御並本資謝に御成りあそばされ本資都煤宮内、府、發表、――【新京二日曰思】御巻驀宮殿下には本二日午旬九

御差遣宮殿下

ツラギ 原文略を決行しった

| 1ツラギ島金子巡事報道班別に関
| ロッテギ島金子巡事報道班別に関
| ロッテギ島金子巡事報道班別に関

学取行、これを無血品(はした、す リンタンクに火を破けて逃避して ボ・ガナツ両膝に割して冷寒上陸(純もまたわが取の上陸を混れガン が、筋内の衝撃を招れガンが、筋内の衝撃を招れガンが、筋内の衝撃を混れガン

慶公司宮原で場を御疎祭めらせられ午後三時四十 同五時廿一分御機嫌うるはしく牽天御泊所に御闢題あそばざれを

配金融度はる

るに半島統治史上歴史的大英志願兵制度、数宵令の改正と 劃期的創氏制度

社會制度大革新さる

の創設

生、家族異な似度は、家族思知が製造されるに至つて一体

民意識の欲求であつた。

で言葉が、出耳痛に陥って、不正足強ツ

朝鮮民事令の改正は左の二項

ズルキャナル鳥およびマライタ鳥の 中間づき殘敵を掃蕩、同五時ツラギ 全領域を・午前一時ソロモン諸島南東端に位する フ

島の 中間に位するフロリダ島全領域を無血占領した、ツラ

緒使節、首相

死命制す

襲奇隊 戦陸 功成に陸上

東京軍部一橋以前國江政所特派

說社



米英の苦悶加はる

英巡

半島統治に御仁慈溢るト御言葉

玉環縣城を攻略

浙江作戦に協力 次門の二方面より統訂上陸を銀行隊の機線は直もに北方深浦、東方

下には一同に對シ午級を貼り中語 一切際領職を記しした 野鹿田せつけられたが、迎くも殿 一切際領職を記したが、王僧樂園にて李式殿下、同妃殿下に 『『

敵狼狽の

つた、ツラギ、ガブツ

の東岸に七首

重大なる戦略的意義

脳の赤巴回網はことに全く渦艦の 最後の機能と特が当

大野前總監七日退城

ン群島の要衝たる クヰンカロラ、ショートランドは既にわが手中に歸し、令またツラギてゐたもので、今次作戰の敵陣營に與へた 打撃は甚大といはねばならぬ、しかしてソログ攻略後はニユーギニャ東部海域における前線基地をなして 時折りラバウル上空を脅かの南岸にあり、從來濠洲軍の水上基地として使用され、またわが軍の ラバウル、カビエの南岸にあり、從來濠洲軍の水上基地として使用され、またわが軍の ラバウル、カビエ

晋異豫邊區の

た演滅に瀕す

入會戦愈よ迫る

呈軍、衢州盆地の敵を眼前

選軍を各所に駆破しつハ衢江の南北金甌宮賦において金甌路職を売間

母 文 雄 著 一般にの大慈悲を説き限りなき生命と信息を通じて述べたもの、無限の力のみ。

(十二版)

伊福部隆彦著

人生叢書

唐楊道水•川石小•京東 番五三一京 東著 振

念佛の人生期 無為の人生期 の 人生期

館文

110回 (京子するか、本 巻川 で表するか、本

優五十銭 ・ 選八級

野松堂著 密の精神に觸れんとするな観音音門品偏を説さつく刺

して同時に問

的性格 (最新刊)

くさの庭ので

將首相訪問, 林、小磯兩大,

正例閣議に附議決定した の7で行政能率の増進をはかるため内閣および各ので行政能率の増進をはかるため内閣および各地民間の學議經驗者を簡拔して行政各部に動員し他民間の學議經驗者を簡拔して行政各部に動員し 學識經驗者を簡拔し 行政能率増進を企圖 體内閣、各省に委員設置す

强化をはかり行政能率の増進を期するため 伝統資智能經驗者を行政各部に動員し 官民協力體制の1)新語7の經年經歷レ帝國議會議員 その他民間の こ。右に願する一方策として内閣および各省に参良を聞くごといする

(ii) 委員設置 栗綱左の如し=(1) 西閣に内閣委員、各職により内閣に於て之を命ず (3) 委員は帝國議會議員をの他學職經験あるもの、中より 簡扱しそれ、一所管大臣の驗あるもの、中より 簡扱しそれ、一所管大臣の驗あるもの、中より 簡扱しそれ、一所管大臣の驗あるもの、中より 簡扱しそれ、一所管大臣の夢を請により内閣に於て之を命ず、(3) 委員設置 栗綱左の如し=(1) 西閣に内閣委員、各職を職

而も成績頗る佳良

新潟で内鮮満 活用問題協議

澱が見出さんとして、七月十日か 活用をいかに削退せしめるかに對

代表が出席する。

見事結實 官民一致の努力

健全苗代育成へ!

勞務調整令 部改正

血壓中樞(急所)の狂ひを止めてもつれ、半身不隨に悩む方の事。 不眠、耳鳴、肩こりのま、不眠、耳鳴、肩こりのま、不眠、耳鳴、肩こりのま、

数ない。 「対象 では、これが地方



は、ナゼどうしても治らぬか

ない。 はいます。 は

まが出来する。 を開発してから、 を記してある。 を記してある。 を記して関係をして、 を記して、 をこして、 を記して、 を記して、 を記して、 を記して、 を記して、 を記して、 を記して、 を記して、 をこして、 をこして を -

體合複Bンミタビ力强

弱 胃腸に せる

HA ボー (理通を整へ 展用は・・・ 服用は・・・ (関通を整へ (対する) 題者なり。 しむる効果 の変勢を恢復せ

150號 至1.50 500鏡 至3.70

分成主 中肝エキス、消化酵素有 機 酸 カル シウムビタミン B・B・D

商業登記公告

オン 藥 椕 會 扯

「一年」の成化度型を実出を開催。中国的
大学之の他二条網スが開催的。日本的
大学之の他二条網スが開催的。日本的
大学之の他二条網スが開催的。日本的
大学之の他二条網スが開催的。日本的
大学之の他二条網スが開催的。日本的
「一年」の
「一

聚€瀬田

ラ 1

0

指導方針の再檢討要請

忌避の傾向濃厚

商業組合設立

CONTRACTOR OF

産金振興解散か 融資残高 回收困難心

暫定措置を實施

工業既成、建設地域を設定す=

大東亞戰爭半ヶ年の跡を辿る

大東亞審議會は一月廿 自力物動の第一年の

の動画が宣告されたが、敵田自立圏でおいてこの田田司書と同

陳印に對し その第二次

戦火と共に着々進捗!

き建設工作

語る南方經綸

歌き十一日から二日間電気機関車 歌き十一日から二日間電気機関車

和やかさ、やがて

あり、南方へ踏まる銃後の胸心と

榮轉の三段跳び

新警務局長、丹下さん

を想張りながらニコく「蘇で本社

榮轉の下飯坂

本社主催 經濟大講演會

| は脱火とありとあらゆる電販面の非業の輸売となつて附近はたご瓦石の山を扱いす人職時、10度人職頭的が名は「紙干飯器」と一概は立続だが、観撃製行域ルマ人職時、20世界として垂れてつた鼠綱を見るだけだ 自拠きの通りに出れば中央市場、ビ水野・そして垂れてつた鼠綱を見るだけだ 自拠きの通りに出れば中央市場、ビ

、その理性を以てこの奇蹟にも等しい事質を、皇軍の人道的行為を、直視し なる央塔を天に難してゐるではないか、人道を識り即性を尊ぶといふ米が

寶碑射撃 軍では來

道地方課長、同十一月忠南財務 和四年一月総選府里事官。京畿

五年二月撤收課長、十七年一一年十一月農林局米穀課長

うんと頑張らう。 一年八ヶ月ぶりで古巣へ 些か面喰ふ高新京畿道知事

を申上げます、板垣軍司令官場のに多数おいでを敷き深く御禮

あつた所、今はわが概要

身上は即斷 だから五年九ケ月の円脚は腐代禄と一ケ月、昭和十一年九月五日 して就住したのが南さんに激れる。た、解せに就住する早丸支兼事城。家の青女不曲の二字で押し加んだ三線さんが八代目の解除器をと、深に乗した仕事も記録能しであつ。 藤伊藤を作き、非常時に趣する響 山ほどやつた大仕事 員、たてついけに統領半島の治安 んはすかさず十三道際祭の長を動

一脳部は戦を組んで水も残さぬ特別一ら飛び起つた 明戦の態勢となるや特殊事情の震

一打つた組織をそつくり使つたので一以上の近く三橋さんは竪戦終行と「る響機の数が五

名殘り盡きぬ景武台

南前總督、大野前總監惛別のお茶の會

招かれた官民千餘名

國防 放金 軍 陸

國防献金

不耐容的揪金

扱一ひ日

一百十圓

皇軍感問金(陸軍)

監視隊

九軍神顯彰金

一百十圓 京城府家治市場 阿 届介人組合員一同

履物花絲

























利 分 利 病 門 所















初老期、老年期の

家 畜 餇 商 料 店 Sammana

全聖合 **養鶏**、

東工ニシン株式智社

る繁心の数が五十人から九十九人一めると歌心の数が五十人から九十九人一める

總計 金九十三萬九千五百三圓七十九錢也

大年十一月半兩知母 大年十一月半兩知母、十

永川商

(在庫豐富

冏

信用一等

製丸睪鯨

頭重等 融值力减退 新縣 經 衰 弱

五〇〇三〇〇段級の

國民生動指定長期の提出部化が職 建設の思測に設つて共労圏各属の 関連を開かれて共労圏各属の

森 廉 聯盟 優質 場 本 の家の精神に

島防

空

元實發遺變

刑會式株藥製本日大

東京店支 · 阪大店本

語

生活の徹

制度の實施を控へて特輯・六月號・五十錢

本部長來城三宅協和會

大野、蒯総督、総監を皆

公定價

徴兵制實施巡 自宅

自動車燃料

炭製造業

中島仁三郎

作物の

央 タン 產株式會

祉

Takakakak

學

洪外科 京城資訊 236 (河間東線人) 医学博士 洪鶴珍 電光 3053

信教授 通问等科

期 西 速 記 學 會

い食物で

に進増の力階

ビ・ソバカスがとれ健康を増す

野麻代郷が貯跡になるのですぐ治ってしまひま 野麻代郷が貯跡でも開びがありませる の肌となりニキビや灰田物等も肥低が薄化され の肌となりニキビや灰田物等も肥低が薄化され 康健っ先

黑形 代 進 字 新明腦剤

けふもでで頭

月出 明 快

分二円五十二円五十二

による正式開通をなすこととなつ 月郡よ來る七月一日より貨物列車

駅長の椅子に坐った、戦南知事か 三橋郷熱郡長の退閏によって後代

八日初乘入水關門海底列車

かくして皇民へ

る廿三名の後年患者をみてゐる

チフス懸者の蔵好をみて

腹チフ

ス

豫防注射

(荷雲國民校)新橋町、宮井町(荷事終端)清雲町

丁目(消防署派出所)原域町、(小京の場所) 授恩町、郷地町、(小京の場所) 授恩町、郷地三 (小京の場所) 授恩町、郷地三 (小京の場所) である。

を無難運搬して腰品を運搬し

除うを盗み出し、そのうち四十

すると、それから一時間も終つ

ノ先)樂團町(パコタ公園内)心寺内)教養町(教養町一〇一

原材料の配給、組合の手配等につ意総會を開催、規格及び公定債、

造業組合總會 五時から朝鮮化粧品製 王日午後

はれる、なば第二回目は九日(括

明、日之出、倭城德明、大利町 一丁自(印之出國民聚役)永樂 町二丁自(印义會別) 若町、 東空町二丁自(和兴會別) 本町 三丁自(本三県第部) 郷井町 二丁自(町栄會別) 本町四丁自 (町柴會別) 花園 町 (町柴會 所)

職成以來質論してある忠信町向城、せた、これや師教した同校々長様 高女の「弘陵街」は嫌うて、朝鮮、川東機氏は融る「雲竇山敦樹前」 では、これや師教した同校々長様 では、これや師教した同校々長様

の箱に名柱を入れられた人は星 生は一人も朝眠許謀用者がなく酷

同徳高女が妙案を實施

聯盟に金一封南さん、景福町

の溫容に接してゐた全緊緘町職盟しんでゐるが、大沼牽鷈日の朝毎に職しくそ一諸並に遂

だ緊頓町職盟に金一封を寄贈した

|満並に遊戯等もある筈で人類を呼

水兵さんと「際て」米夷に等の 授々庭で開催することになつたが

同日は中央保育生徒の「かもめの

n

東大門外擴張路の立退き完了 變る地獄道路

明春までには全通

嬉し

ŋ

昌信公立青訓所

組織所の懸惑整備をあるほか戦勢。は戦闘しては信念立青年訓練所のなほ本年度の新脱毒素として保護したが、本年に入つて愀然その覚賞 が難、太鼓で青年を職務して職く良成績を示した。 ECO 1 511 本張音のちで聴見 て六十名の應募者があつて嬉しい府内の十部人側皆年訓練所は昨年 | 豪集に際しては足員四十名に動し 状況であつ

國語獎勵の、資箱 今後回訓練所では場合によつて な客舎或は試験を行つて入所を 許すといふ方法を講ずる外はあ るまいとみられてゐる

になるとけである「富貴=東大



幹な防諜少年

根掘り栗掘り開いては所持し 3巻校の途次小型

高調機を携帯し

にせ放送局員に御注意

聽取者宅で「修繕料」を騙取

仮名=で仁川から水原までハイ 町一七六**週**信局工員北島五郎= 「まだくお苦しさうらやありま

て

「ラジオを

板査する」といっ

ん方を訪れた放送

旱電の蘇々たる職果に総領し

般に関れられた

兄んな注意が置下 日東

てゐた

龍山署へ献金寄託

けで惨弾。第二円四十歳を徴取して を弄り廻して参丁二本を取替たゞ

な際は良と鴨つて国出でたので

綿布の闇は 的に、その手を配いた。能材は、 と、突然、手を出して、佐賀丁

身になって、徹底にかくつてくれ

縦布の脳取引が行はれてゐる職が

あるので器員を派して戦重調査の

ノニ自川柱蔵でもの三名を引数

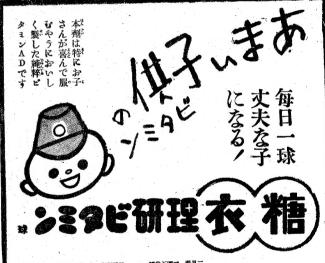
く、その日は、意外にあつさり形 商業登記公告

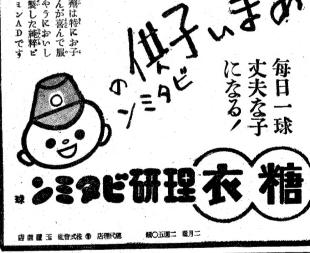


黑鼠の仕業

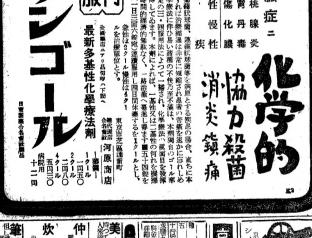


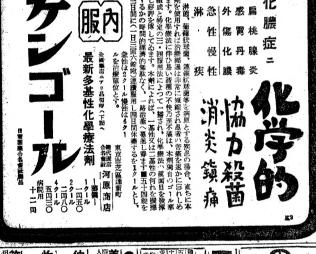


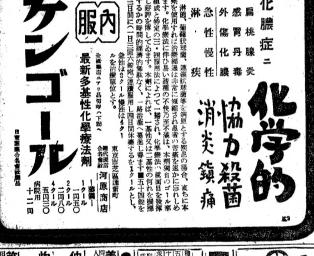


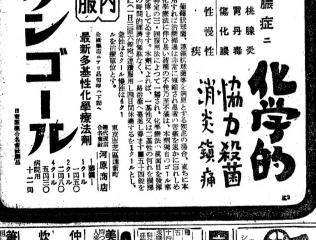


















名









森川の電気に

19年4年 第二十二年 19年3年 19年3年 19年3年 19年3年 19年3日 19年3年 19年3日 19年3

賞家 欠は顧問を求む サンエス 預 會

度に 風子 明 (大川 1番) 「 「 1 番) 「 「 1 番) 「 「 1 番) 「 「 1 番) 「 1

特别案内









被雇需等公营













権選)

愛の

赤道

[112]

竹

H

敏

彦(作)

竹

城

袋問慰の街 御神木の

日では高さ十四米、躍り して参詣者の絶え間がない、 誘硬の皆様に贈ることなつてゐる 他し皇軍の蹶々たる戦戦の狀況をなほ家灰竜方点部地區を罵別に開

稍減少 前月より稍

台らぬだに一人の病室の心細さ

戦いノツクとゝもにドアが顕

ひとりの春(込)

兵隊さんよ、御安心

擴充される『軍人援護授産場』

近〜増築工事に着手

聯合園遊會第二回幼稚園

校で開催

議察案内所五月中の男 五月中の祖談者件数 らず大多數を占め分 したよ を立てたが、能村はお隣ひなく、

> で、今日からお附添ひに上が 「めの、私、瀬村橋からのお

染病豫防愁談 接客業者ご傳 東大門署で開催

これですから、まめ、いゝ加蔵な 思いで、衛文才眼を関いたが、

まで、ちゃうな一番リート の受取職でごさいます。さつ

部かお客のや

















東洋劇場







南

自動中に関係がある。



貿易計畫は昨年度の日滿支三國を主とした貿易計畫に新に南霧城からびに簗都の供給その軸を動製し、これに必要なる委金を供給するとともに要

國府協力を通電

在佛印の華僑五十萬

海麓攻撃隊勇躍出動す(影響を調理場)電送

た體で日本を背骨

資金、貿易新計畫成る

完戰、南方建設に重點

四千萬の感謝を傳達

和平建國軍强化

雞冠香に限る? 蚊ごり線香は

米ない特許品だからの力が他の質似の出

社會式株菊虫除本日大編本

聖學巡走,本

配合式株器製本サス

用前總督を訪問

リーにおける新聞記者職との會「日本策は深観がビルマ人と低吹し「親朋要音差のごとしレキサンダーは三十一日ニュー」における優秀版を認めると同時に「職を実はせた、アレキサンダを取れた新聞を記すると同様に「職を実はせた、アレキサンダーにおける新聞という。

章 ビルマ戦の言語

峻嶮の敵、

最大機點、從化を占領 學に撃碎

南支の精鋭更に猛進

マ土侯會議開催



京場経配給所 株式 審融 間 坊 商 京 城府 南大門 通一ノ三四

慰問品賣場

空輸光、援蔣品を

警務局長後任



澤田宗山作陶展

製法特許



を放した。 を定した。 のでは、一般には、 のでは、のでは、 のでは、 のでは、

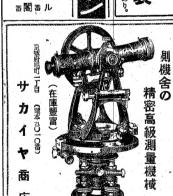
115

場

月

F

















-制を採用

或

志